

学校番号				
3	7	5	0	6

令和7年度 自己評価書及び学校関係者評価書

令和 8 年 3 月 10 日

札幌市立 稲穂中学校

1 本校の目指す子ども像

「知性あふれ 逞しく生き抜く 心豊かな生徒」の育成
校訓：自立・創造・敬愛

2 今年度の重点目標

様々な場面で「子どもの声を聴く」ことを大切に子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校へ ~子どもと「真摯に向き合う」教育の推進~

3 今年度の経営方針

- | | |
|-------------------------|-----------------------------------|
| ①自尊感情や自己肯定感を醸成する教育活動の推進 | ④道徳教育、インクルーシブ教育など、生徒理解を深める教育活動の充実 |
| ②AARサイクルを踏まえた課題探究学習の充実 | ⑤地域・保護者との連携とコミュニティスクール設立の推進 |
| ③ICTを有効活用した、教育活動の推進 | ⑥働き方改革をに向けた教育課程の検証と再構築 |

4 自己評価結果

分野	重点項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
			達成状況	改善方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
人間尊重の教育	インクルーシブ教育の推進	特別支援学級との交流及び共同学習の推進	A	交流学級への授業参加、各種行事での共同学習、道徳や英語などの授業を通常・特別支援双方の教師により実施し、共に学ぶ関係性を築くことができた。	A	A
「学ぶ力」の育成	課題探究的な授業の充実	AARサイクルを踏まえた授業の充実	B	本校の研修を通じて、ICTを活用しつつ個別探究を効果的に行うことに力を入れてきたが、教員・生徒ともに技能研修が必要な状況もあるので、ICTを効果的に活用した個別・協働探究の実践に努めたい。	A	A
「豊かな心」の育成	いじめのない学校づくり	「子どもの声を聴く」ことを大切にしたり関わり	A	日常的にコミュニケーションを取ることを大切に、相談活動を行ったりアンケートの記載内容などに対応してきた。「声なき声」への意識も忘れずに、これからも取り組んでいきたい。	A	A
「健やかな体」の育成	授業外運動機会の創出	体力向上のための日常・行事活動の充実	A	昼休み、体育館の他に格技室も割り当てている。また運動系行事は、生徒による企画・運営で行い、運動機会の少ない生徒も楽しめるように工夫して活動し、成果を上げている。	A	A
一貫性・連続性のある教育（小中一貫した教育）	校種間連携の推進	授業や行事見学など、相互交流の推進	B	札教研を中心に、児童の行事・授業見学、部活動見学なども行い、相互交流は活発である。ただ、札教研は2会場に分散しているため、分散せず一堂に会して共通理解を深められるようにしていきたい。	A	A
札幌らしい特色ある学校教育	雪に関する取組	スキー学習を中心とした雪に親しむ取組	A	学年単位で2回、スキー学習を実施している。来年度も継続予定なので、費用の問題などを他の部分で調整するなど配慮しつつ、この取組を大切にしたい。	A	A
教科等の枠組を越えた教育	情報教育	ICTを有効活用した教育の推進	B	生徒・保護者のアンケートで肯定的な回答は多いが、教職員アンケートでは否定的な回答も散見される。新学校ネットワーク導入を契機に、より一層の有効活用に努める。	A	A
学校関係者評価委員会による意見		子どもたちの目線にたって、様々な取組を行ってきていることが伝わります。A評価のところを中心に、成果として表れていると推察します。B評価の部分は、厳しめの評価のようにも思いますが、学校として子どもたちの成長を支えられるよう、改善策なども含めて取り組んでもらいたいです。				
学校独自に設定する分野	自己肯定感を醸成する文化的活動		A	稲穂祭・合唱コンクールの実施は、秩序ある集団形成や感性・情緒面の発達にも大きく影響を及ぼしている。実施規模を検討しつつ、来年度もこれらの活動を大切にしていきたい。	A	A
	キャリア発達を支える職業・進路に関する探究的な学習活動		A	今年度から実施した職場体験は、先を見通した計画であったこともあり、大変有意義に進められた。総合的な学習でねらう探究的な見方・考え方を今後も大切に、来年度も実施していきたい。	A	A
	働き方改革に向けた教育課程の再構築		B	指導要領に基づいた教育課程編成を大前提としつつ、より一層の改革・再構築を進める必要がある。全体のバランスを大切に、効率化を図るなどの工夫をし、前例にとらわれることなく、改革していきたい。	A	A
学校関係者評価委員会による意見		生徒と先生の信頼関係を構築していくことが大切で、難しい状況もあると思います。御校の取組からは、子どもたち一人ひとりの声を大切にし、子どもたちと共に取り組んでいる様子がかがえます。難しい対応もあると思いますが、先生たちも疲弊することのないようにしながら、稲穂中学校の良さを取り入れた教育活動に邁進して欲しいと思います。				